

2005年9月期 投資家説明会

2005年11月30日(水)



本日のアジェンダ

Part I: 2005年上期決算のポイント

1. 業績サマリー
2. トップライン
 - (1) 財務ベース
 - (2) 業務部門別実績
 - (3) 貸出ビジネス
 - (4) 資産運用ビジネス、投資銀行ビジネス
 - (5) 経費
3. 不良債権処理の状況
 - (1) 開示債権残高、クレジットコスト
 - (2) 区分遷移状況、引当状況
4. B/S
 - (1) 概況
 - (2) 株式ポートフォリオ
 - (3) 債券ポートフォリオ
5. 繰延税金資産
6. 自己資本比率
7. 05年度業績予想

Part II: 主要戦略ビジネスの強化策

1. 2005年上期総括
 - (1) 05年上期の評価
 - (2) 主要戦略ビジネスにおける成果
 - (3) アライアンス戦略の進展
2. 主要戦略ビジネスの強化策
 - (1) 貸出ビジネス
 - ① 中小企業向け新型無担保貸出
 - ② 住宅ローン
 - ③ コンシューマーファイナンス
 - (2) 個人向けコンサルティング
 - (3) 法人向けソリューション
 - (4) 海外ビジネス
3. 今後の成長戦略の展開
4. おわりに

1. 業績サマリー



(SMFG連結、SMBC単体、単位：億円)

		SMFG連結				SMBC単体				
P/L		04年度	04年上期	05年上期	前年同期比	04年度	04年上期	05年上期	前年同期比	
		業務粗利益	20,250	10,200	10,219	+19	15,229	7,627	7,666	+39
	マーケティング部門	-	-	-	-	12,948	6,061	6,657	+336*	
	市場営業部門	-	-	-	-	2,228	1,512	1,237	▲275	
	経費	▲8,527	▲4,236	▲4,216	+20	▲5,824	▲2,911	▲2,924	▲13	
	業務純益**	10,144	5,449	5,796	+347	9,405	4,716	4,742	+27	
	クレジットコスト	▲11,968	▲6,128	▲1,765	△4,363	▲9,548	▲4,558	▲1,297	△3,261	
	株式等損益	▲1,019	488	352	▲136	▲1,187	448	250	▲198	
	経常利益	▲303	1,141	4,638	+3,497	▲717	1,252	3,598	+2,346	
	当期純利益	▲2,342	534	3,923	+3,389	▲1,368	1,186	2,987	+1,801	
B/S		05/3末			05/9末			05/3末比		
	不良債権残高		23,230	18,463	△4,767		18,246	14,060	△4,186	
	不良債権比率		3.9%	3.0%	△0.9%		3.3%	2.5%	△0.8%	
	繰延税金資産 ／Tier I		47.6%	36.5%	△11.1%		-	-	-	
	自己資本比率		9.94%	11.00% (速報値)	+1.06%		11.32%	12.00% (速報値)	+0.68%	

* 前年同期比は、金利・為替影響等を控除した行内管理ベース(控除したこれら影響額は本社管理で調整)

** 一般貸倒引当金繰入前

2. トップライン (1) 財務ベース



(SMFG連結、SMBC単体、単位:億円)

	SMFG連結			SMBC単体	連単差
	04年 上期	05年 上期	前年同期比	05年 上期	
連結/業務粗利益	10,200	10,219	+19	7,666	2,553
資金利益	5,958	5,537	▲421	4,543	994
信託報酬	7	43	+36	43	0
役務取引等利益	2,354	2,787	+433	1,634	1,153
特定取引利益	303	123	▲181	36	87
その他業務利益	1,577	1,729	+152	1,410	319
営業経費	▲4,236	▲4,216	+20	▲2,924	▲1,292
与信関係費用	▲6,128	▲1,765	+4,363	▲1,297	▲468
持分法による投資損益	129	141	+12	-	141
経常利益	1,141	4,638	+3,497	3,598	1,040
特別損益	▲174	475	+649	▲47	522
当期純利益	534	3,923	+3,389	2,987	936
連結/業務純益	5,449	5,796	+347	4,742	1,054

連単差内訳(概数)	
① みなと銀行	230
関西アーバン銀行	240
三井住友カード	150
② 三井住友カード	530
SMBCフレンド証券	200
③ 三井住友銀リース	380
④ 三井住友カード	▲510
SMBCフレンド証券	▲170
⑤ ローン保証会社	▲90
みなと銀行	▲80
三井住友カード	▲80
⑥ 大和証券SMBC	130
プロミス	50
⑦ 三井住友カード株売却益等	580

主要グループ会社、関連会社業績

	経常利益	当期利益
^ 単体 ^		
三井住友カード	109	75
三井住友銀リース	140	88
日本総研	25	22
^ 連結 ^		
大和証券SMBC	502	313
プロミス	528	314

(注)SMFG連結業務純益=SMBC単体業務純益+他の連結会社の経常利益+持分法適用会社経常利益×持分割合-内部取引(配当等)

2. トップライン (2) 業務部門別実績



(SMBC単体、単位:億円)

		05年上期	前年同期比*	粗利益の前年同期比増減主要因*	
個人部門	粗利益	1,920	+200 ①	①個人: 投信・個人年金保険販売関連 (+200)	+130 +22
	経費	▲1,230	▲42		
	業務純益	690	+158		
法人部門	粗利益	3,306	+98 ②	②法人: 為替・EB・外為 (+98)	+42 +41 ▲46
	経費	▲923	△8		
	業務純益	2,383	+106		
企業金融部門	粗利益	948	▲30 ③	③企業金融: 貸金収益 (▲30)	▲83 +47
	経費	▲145	△4		
	業務純益	803	▲26		
国際部門	粗利益	483	+68 ④	④国際: 対顧預金収益 (+68)	+30 +25
	経費	▲203	▲5		
	業務純益	280	+63		
マーケティング部門	粗利益	6,657	+336 ⑤	⑤市場営業: バンキング収益 (▲275)	▲325 +60
	経費	▲2,501	▲2		
	業務純益	4,156	+334		
市場営業部門	粗利益	1,237	▲275 ⑤	⑤市場営業: バンキング収益 (▲275)	▲325 +60
	経費	▲92	▲1		
	業務純益	1,145	▲276		
本社管理	粗利益	▲228	▲22		
	経費	▲331	△23		
	業務純益	▲559	+1		
合計	粗利益	7,666	+39		
	経費	▲2,924	▲13		
	業務純益	4,742	+26		

* マーケティング部門の粗利益、及び経費の前年同期比は、金利・為替影響等を控除した行内管理ベース(控除したこれら影響額は本社管理で調整)。

2. トップライン

(3) 貸出ビジネス ①残高、利鞘



(SMBC単体、単位:兆円、%)

貸出金残高

	《末残》		《平残》	
	05/9 末残	05/3末比	05年 上期	前年同期比
総貸出	50.9	+0.9	50.2	▲0.4
海外貸出	4.0	+0.7	3.8	+0.8
国内貸出	46.9	+0.2	46.4	▲1.2

国内貸出(行内管理ベース)

	05/9末	05/3末比	05年上期	前年同期比
国内マーケティング部門	45.8	+0.6	45.2	▲0.9
うち個人	14.5	+0.2	14.4	+0.5
うち中堅・中小企業*	22.0	+0.4	21.2	0.0
うち大企業*	9.3	0.0	9.7	▲1.4

*「中堅・中小企業」:法人部門、「大企業」:企業金融部門

国内業務預貸金利鞘(財務ベース)

	05年上期		前年同期比	
	平均残高	利回り	平均残高	利回り
貸出金**	44.4	1.75	▲1.4	▲0.04
国庫向貸出	0.0	0.04	▲0.2	+0.01
除く国庫向	44.4	1.75	▲1.2	▲0.04
預金等	59.5	0.02	+2.7	0.00
預貸金利鞘	-	1.73	-	▲0.04

利鞘(行内管理ベース)

	末利鞘		05年上期	
	05/9末	05/3末比	平均	前年同期比
中堅・中小企業*	150bp	▲6bp	154bp	▲6bp
大企業*	72bp	▲12bp	76bp	▲10bp

** 金融機関除く

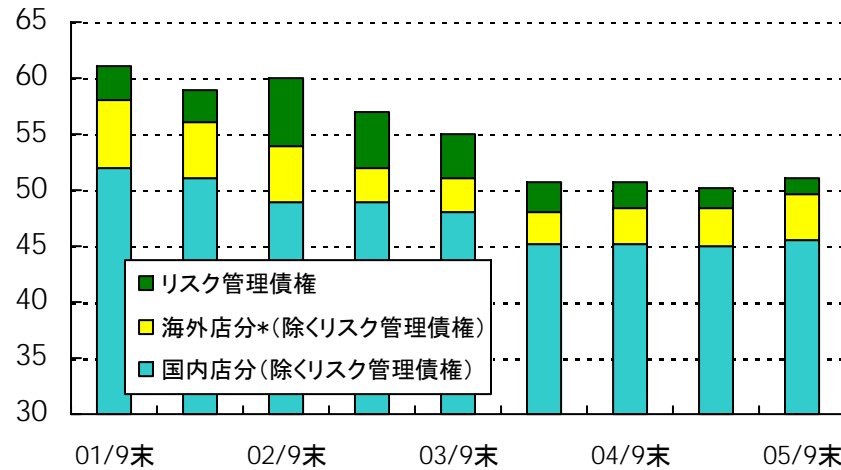
2. トップライン

(3) 貸出ビジネス ②取組状況



(SMBC単体、単位：兆円)

貸出金残高の推移

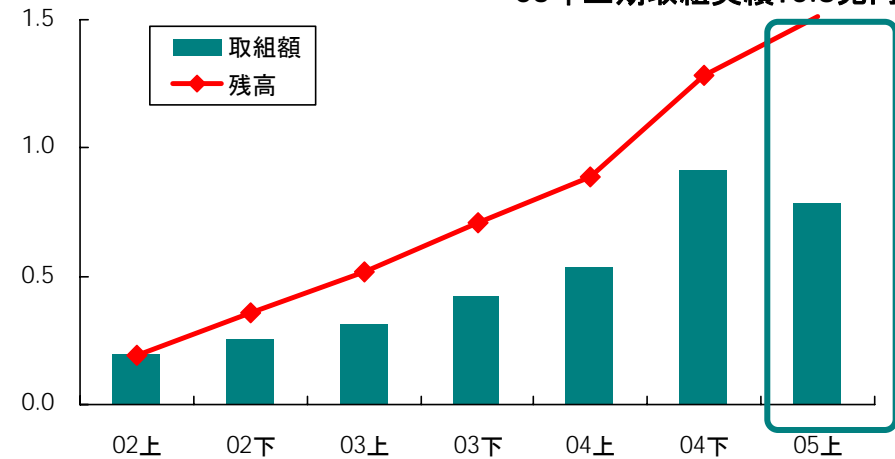


* 海外店分及び特別国際金融取引勘定分

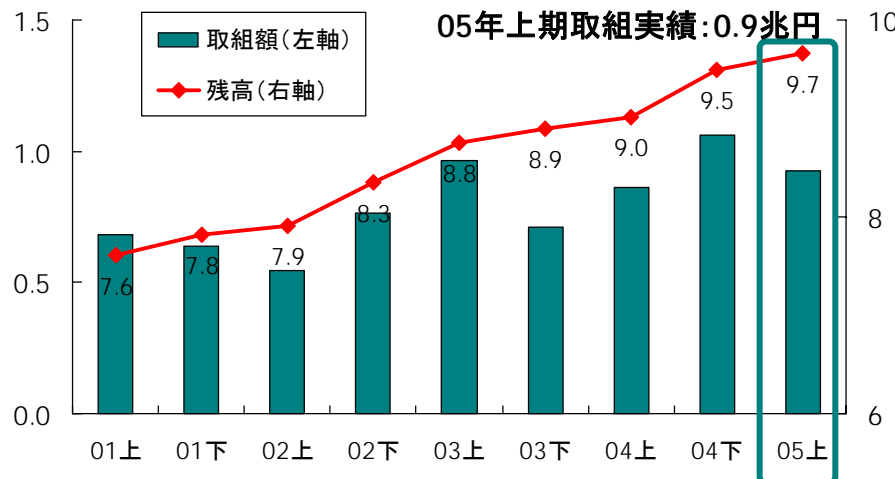
中堅・中小企業向け新型無担保貸出

ビジネスセレクトローン

05年上期取組実績：0.8兆円



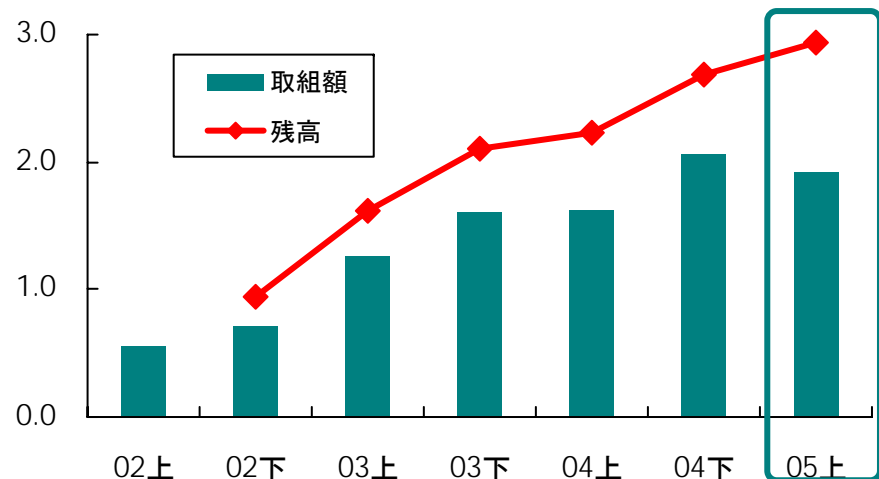
住宅ローン**



** 自己居住用。取組額は住宅金融公庫つなぎローンを除く

新型無担保貸出***合計

05年上期取組実績：1.9兆円



*** ビジネスセレクトローン、SMBCクレセルローン、Nファンド、SMBC-CLO、Vファンド、等

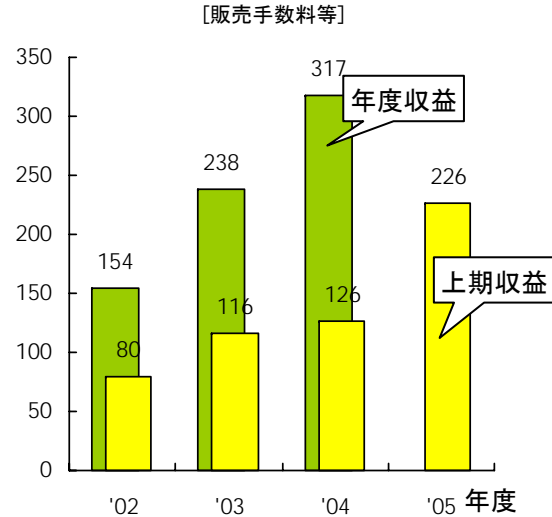
2. トップライン

(4) 資産運用ビジネス、投資銀行ビジネス

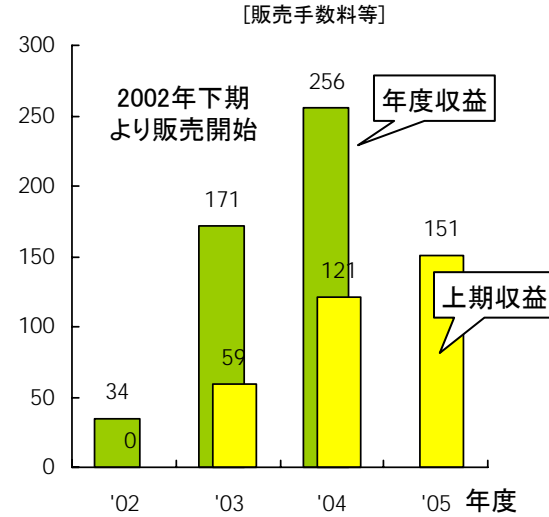


(SMBC単体[行内管理ベース]、単位:億円)

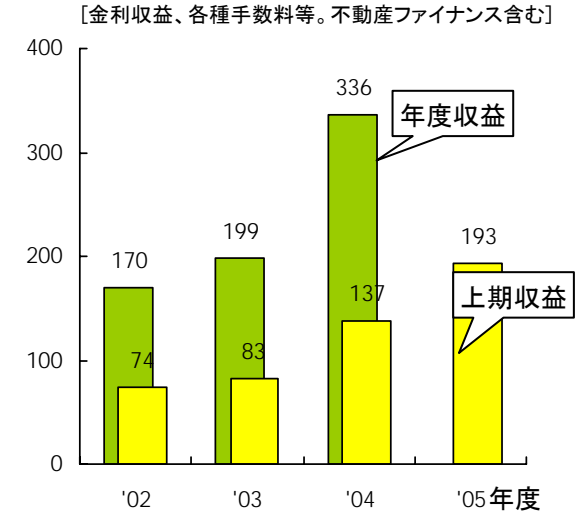
投信



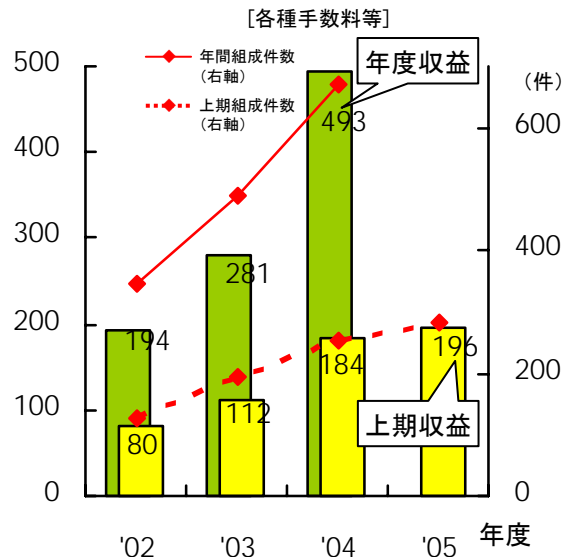
個人年金保険



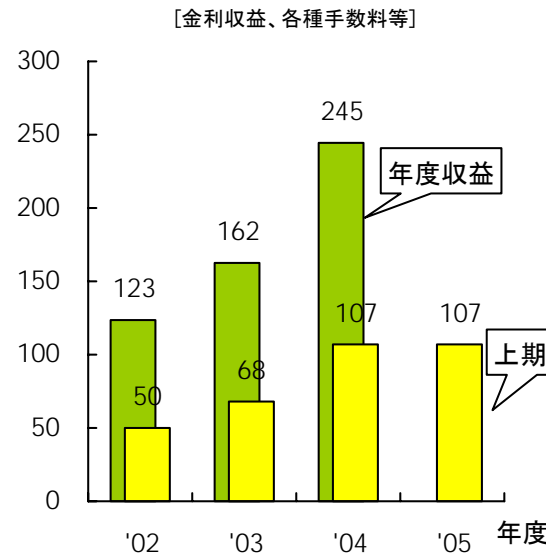
ストラクチャード・ファイナンス



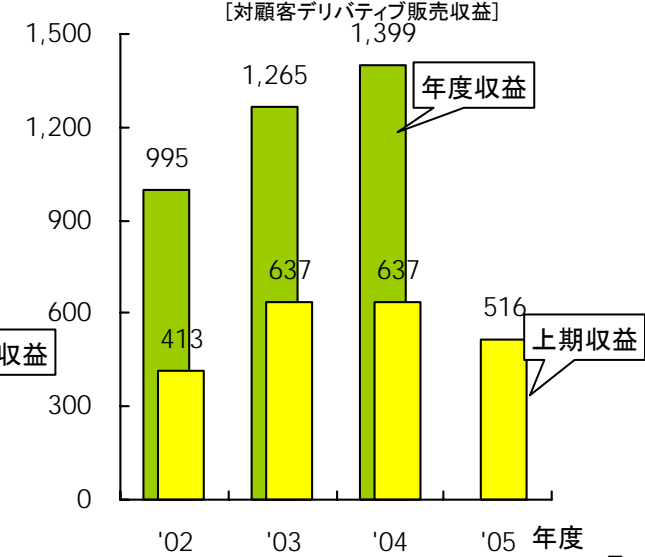
シンジケーション関連



金銭債権流動化等



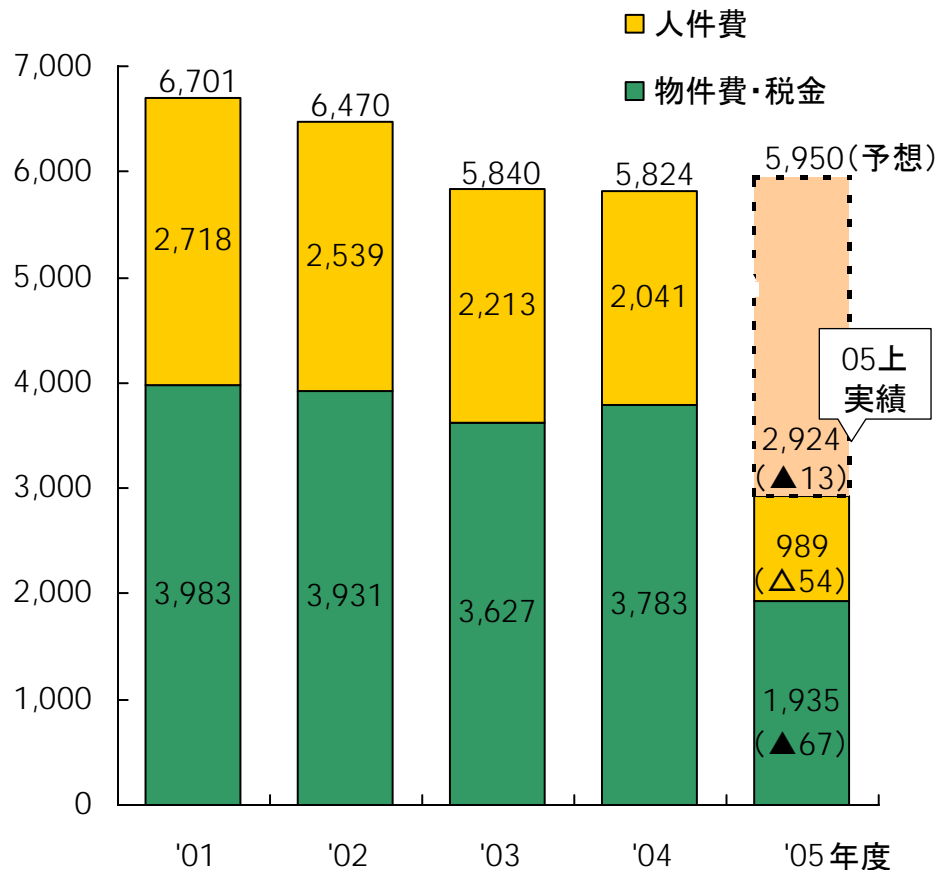
デリバティブ販売



2. トップライン (5) 経費

(SMBC単体、単位:億円)

経費



経費率 (OHR)	'01	'02	'03	'04	'05年度
	36.2%*	36.7%	36.9%	38.2%	38.1%

経費の前年同期比増減要因

人員減	△49
プロミス提携	▲40
中堅・中小企業向け無担保貸出増強	▲10
住宅ローン業務	▲6

チャネルの状況

個人部門関連:	05/3末	05/9末
国内支店	425	412ヶ店
SMBCコンサルティングプラザ***	45	66拠点
ローンプラザ	108	113 "

** 03/3より設置開始。コンサルティングオフィスを含む。

法人部門関連:	05/3末***	05/9末
法人営業部	192	194拠点
ビジネスサポートプラザ(BSP)	32	19 "
法人営業所	8	9 "
分室、法人営業デスク	79	82 "

* 特殊要因(子会社からの配当収入等約2,200億円)を除いたベースでは41.0%。

*** 05/3末実績値は、旧コミュニティ banking 本部廃止による統合要因調整後。

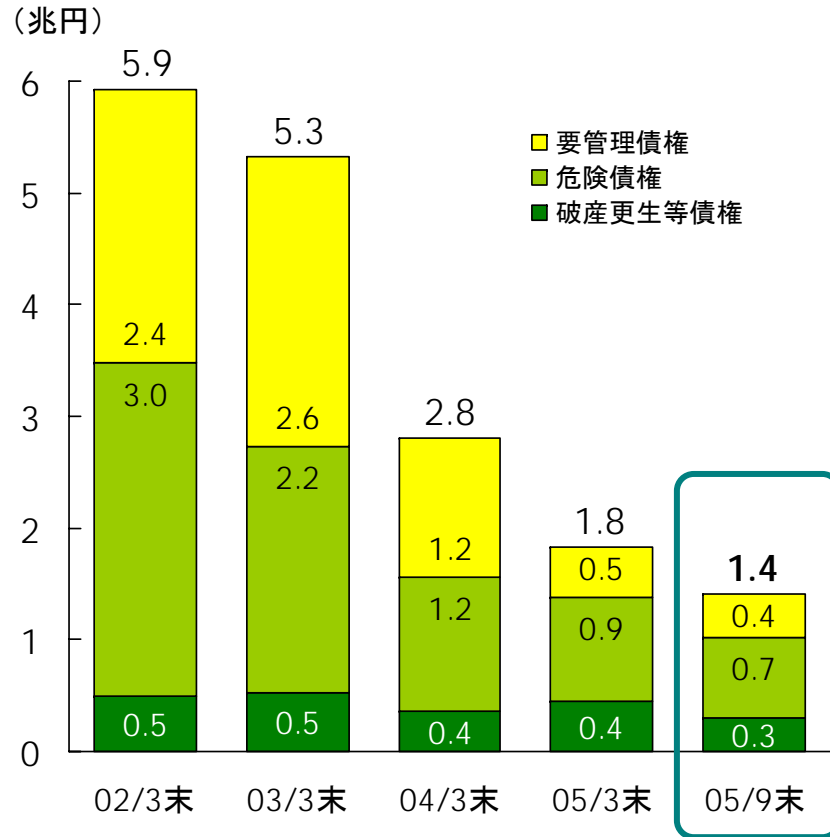
3. 不良債権処理の状況

(1) 開示債権残高、クレジットコスト



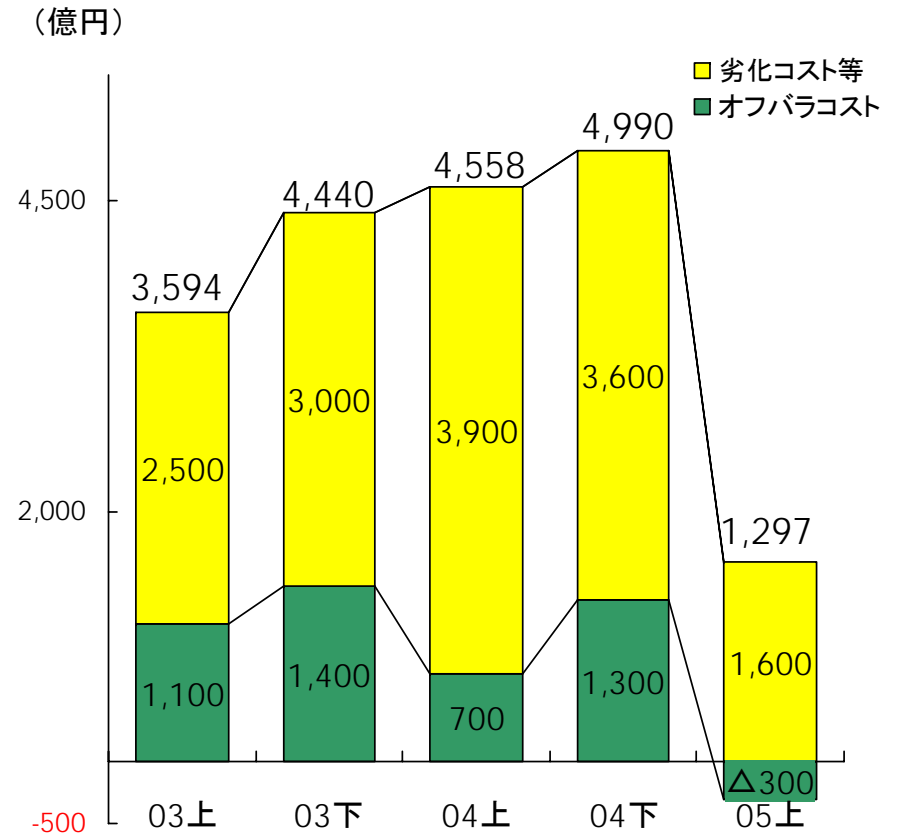
(SMBC単体)

不良債権*残高



不良債権比率	8.9%	8.4%	5.0%	3.3%	2.5%
--------	------	------	------	------	------

クレジットコスト



劣化コスト等 … (要管理先を含む) 要注意先以上からの劣化コスト等

オフバラコスト … 破綻懸念先以下からのオフバランス化関連コスト等

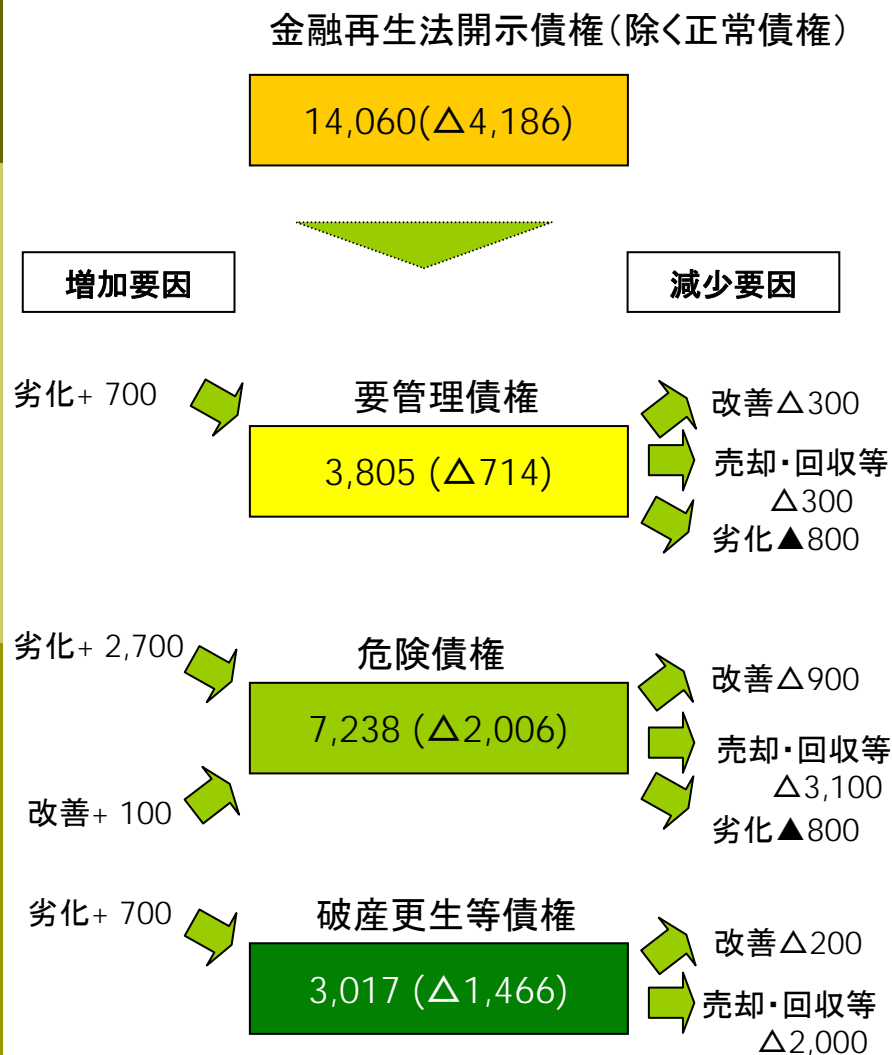
* 金融再生法上の開示債権(除く正常債権)

3. 不良債権処理の状況

(2) 区分遷移状況、引当状況

(SMBC単体、単位:億円)

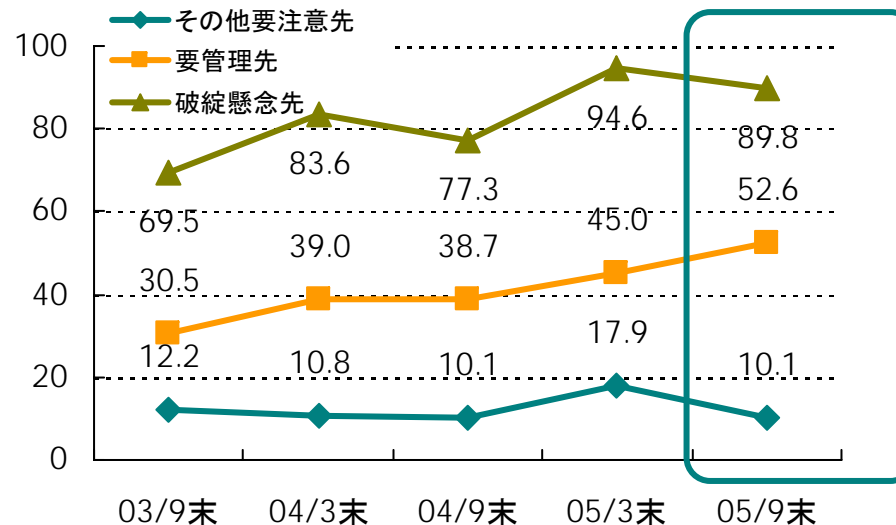
残高増減要因(05/3末比)



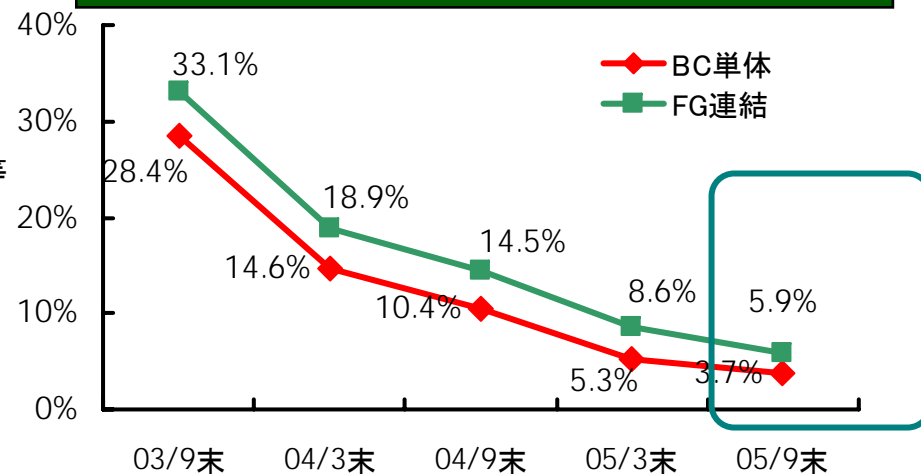
* アンカパー対比

** (開示債権残高-保全額[貸倒引当金+担保・保証等]) / Tier I 資本 (SMFG連結)

引当率*の推移 (%)



ネット不良債権のTier I資本に対する割合**





4. B/S (1) 概況

(SMBC単体、単位：億円)

	05/3末	05/9末	05/3末比
資産	911,298	932,938	+21,640
有価証券	236,767	230,395	▲6,372
貸出金	500,676	509,492	+8,816
繰延税金資産	15,022	13,285	▲1,737
負債	883,771	901,226	+17,455
預金	627,883	633,809	+5,926
譲渡性預金	28,033	26,026	▲2,007
債券貸借取引 受入担保金	38,380	36,120	▲2,260
その他負債	11,432	15,710	+4,278
資本	27,527	31,712	+4,185
資本金	6,650	6,650	-
資本剰余金	13,675	13,675	-
利益剰余金	2,913	6,079	+3,166
土地再評価 差額金	423	245	▲178
その他有価証券 評価差額金	3,866	5,063	+1,197

前期末比増減主要因	
① 国債	▲2.3兆円
外貨建証券・投信等	+1.1兆円
社債	+0.2兆円
国内株式	+0.2兆円
② 海外貸出	+0.7兆円
国内貸出	+0.2兆円
③ 14ページご参照	
④ 国内預金	+0.3兆円
	(うち流動性+0.8)
⑤ 中間純利益	+2,987億円
⑥ 株式の評価益拡大	

4. B/S (2) 株式ポートフォリオ



(SMBC単体、単位:億円)

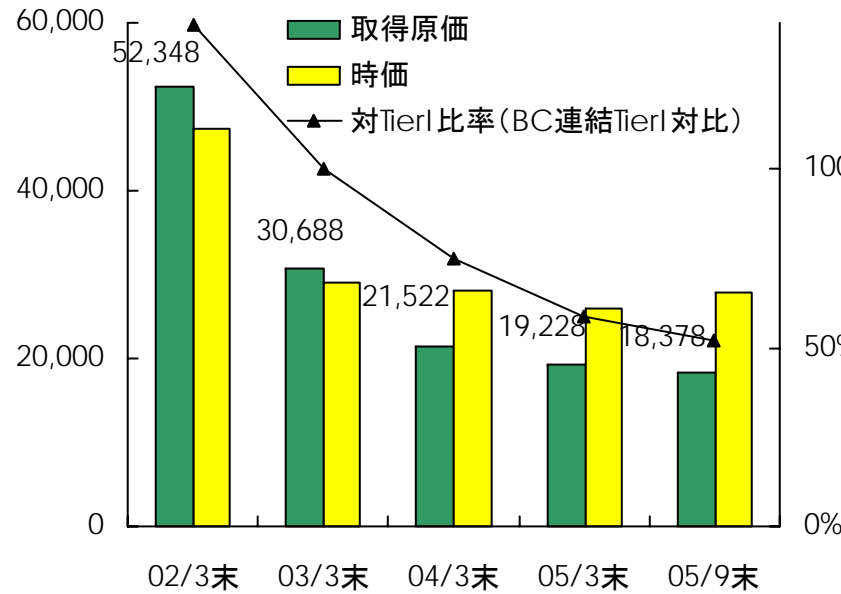
株式等損益

	04年 上期	05年 上期	前年 同期比
合計	448	250	▲198
株式等売却益	600	342	▲258
株式等売却損	▲4	▲4	0
株式等償却	▲148	▲88	60

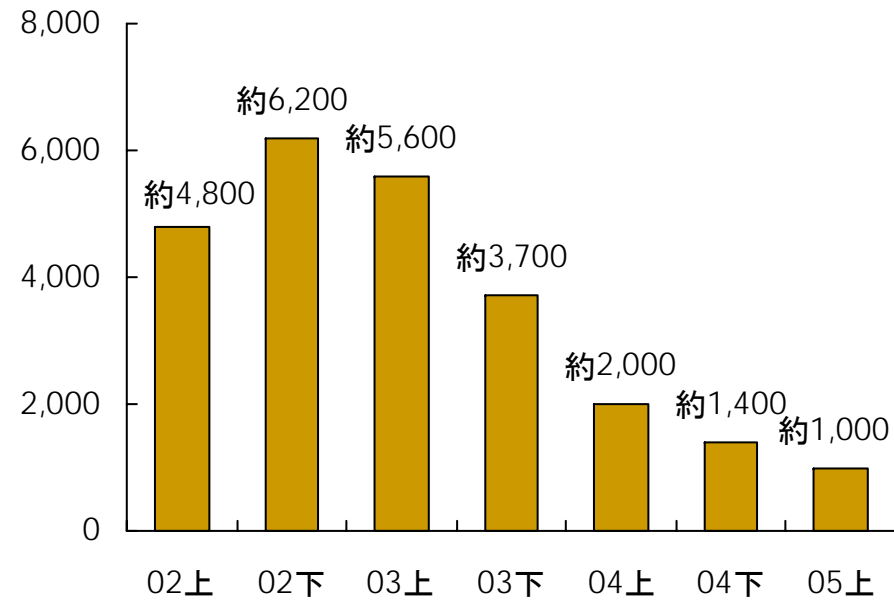
その他有価証券評価損益

	05/3末	05/9末
合計	6,514	8,516
株式	6,673	9,454
債券	77	▲803
その他	▲236	▲135

その他有価証券の上場・店頭株式残高推移



持合解消実績



4. B/S (3) 債券ポートフォリオ



(SMBC単体、単位：億円)

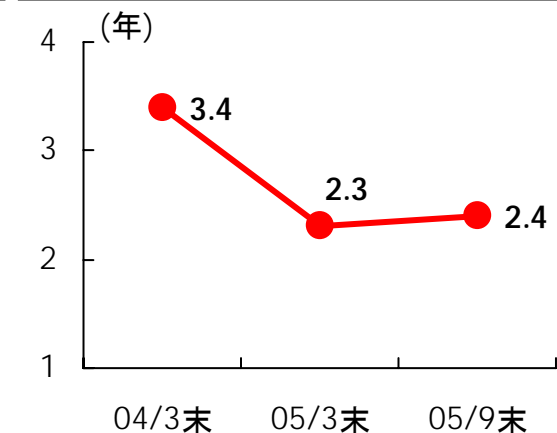
国債等債券損益

	04年上期	05年上期
合計	267	284
売却益	514	398
売却損	▲248	▲112
償還益	1	1
償還損	▲0	▲3
償却	-	-

その他有価証券評価損益

	05/3末	05/9末
合計	6,514	8,516
株式	6,673	9,454
債券	77	▲803
その他	▲236	▲135

円債の平均デュレーション*



* 時価ヘッジ・満期保有分を除く、私募債を含まず

その他有価証券のうち満期があるもの及び満期保有目的の債券の残存期間別残高

	1年以内		1年超5年以内		5年超10年以内		10年超		合計	
	05/3末比		05/3末比		05/3末比		05/3末比		05/3末比	
05/9末										
債券	21,826	▲8,036	69,698	▲15,703	24,279	+3,122	28,320	+969	144,123	▲19,649
国債	18,960	▲8,635	46,132	▲15,414	14,500	+662	27,666	+641	107,258	▲22,746
地方債	99	+74	2,179	+137	2,818	+884	5	▲0	5,101	+1,094
社債	2,767	+525	21,387	▲426	6,961	+1,576	649	+329	31,764	+2,003
その他	3,474	▲1,455	19,618	+4,745	5,307	+3,002	6,261	+644	34,660	+6,936
合計	25,300	▲9,491	89,316	▲10,959	29,586	+6,124	34,581	+1,613	178,783	▲12,713

5. 繰延税金資産



(SMBC単体、単位:億円)

税務上の損金不算入額、繰越欠損金に基づく計上 ← 将来発生所得からの見積り

	05/9末	05/3末比
繰延税金資産小計	22,236	▲1,555 ①
貸倒引当金	2,333	▲821
貸出金償却	3,685	▲1,936
有価証券有税償却	4,445	▲885
繰越欠損金	10,561	+2,333
評価性引当額	4,914	▲619 ②
繰延税金負債のうちその他有価証券評価差額金以外の部分	572	▲19 ③
合計 ①-②-③	16,750	▲917 ④
その他有価証券評価差額金	3,465	+820 ⑤

	今後5年間の 見積り累計
業務純益 (一般貸倒引当金繰入前)	53,760
A 税引前当期純利益	31,810
B 申告調整額 (除く05/9末一時差異の解消額)	9,886
調整前課税所得(A+B)	41,696
	× 実効税率(40.63%)
	05/3末比
調整前課税所得に対応する繰延税金資産額	16,941 0

繰延税金資産のB/S計上額 ④-⑤	13,285
--------------------------	---------------

過去5年間の法人税確定申告所得実績

	01/3	02/3	03/3	04/3	05/3	05/9
確定申告所得(繰越欠損金控除前)	▲1,760	2,419	▲7,455	▲14,378	3,172	▲5,710

(注)上記計数は、実務指針の例示区分の4号但書に規定する「非経常的な特別の原因」を含んでいるが、これを除けば各期とも課税所得を計上している。

6. 自己資本比率



(SMFG連結、単位:億円)

	05/3末	05/9末 (速報値)	05/3末比
Tier I	32,623	37,461	+4,838
資本金・資本剰余金	23,270	23,270	0
[うち優先株]	[17,816]	[14,603]	[▲3,213]
利益剰余金	2,856	6,979	+4,123 ①
海外特別目的会社の発行する優先出資証券	8,169	8,275	+106
自己株式	▲2,699	▲2,708	▲9
Tier II*	32,623	37,461	+4,838
その他有価証券含み益の45%相当額	3,171	4,109	+938
土地の再評価差額の45%相当額	671	399	▲272
一般貸倒引当金	6,335	5,974	▲361
永久劣後債務	8,800	11,196	+2,396 ②
期限付劣後債務	16,573	15,913	▲660
小計	35,550	37,591	+2,041
控除項目	▲5,044	▲5,480	▲436 ③
BIS自己資本	60,201	69,442	+9,241
リスクアセット	605,526	631,279	+25,753 ④
自己資本比率	9.94%	11.00%	+1.06%
Tier I 比率	5.38%	5.93%	+0.55%

Tier I

① 中間純利益 + 3,923

※SPV海外公募優先株(3,450億円)は7月迄に全額転換済
(3月末時点での転換済分:約238[6.9%])

Tier II

② 海外市場における永久劣後債発行
+13.5億ドル/+7億ユーロ(=+2,481億円)

控除項目

③ エヌ・アイ・エフSMBCベンチャース[※]宛出資等

リスクアセット

④ 海外貸出等 + 0.9兆円
国内貸出(リスク管理債権除く) + 0.6
為替影響 +0.4

*自己資本への算入額

7. 2005年度業績予想



(単位: 億円)

SMBC			
【単体】	04年度 実績	05年度 予想	05年5月 業績予想対比
業務純益(一般貸倒引当金繰入前)	9,405	9,500	-
業務粗利益	15,229	15,450	-
経費	▲5,824	▲5,950	-
与信関係費用	▲9,548	▲3,000	-
経常利益	▲717	6,600	+500
当期純利益	▲1,368	4,300	+800

SMFG			
	04年度 実績	05年度 予想	05年5月 業績予想対比
【連結】			
経常収益	35,808	35,000	+2,000
経常利益	▲303	8,500	+700
当期純利益	▲2,342	5,500	+900
【単体】			
営業収益	2,588	540	-
経常利益	2,534	480	-
当期純利益	2,522	700	-

Part II: 主要戦略ビジネスの強化策



1. 2005年上期総括
 - (1) 2005年上期の評価
 - (2) 主要戦略ビジネスにおける成果
 - (3) アライアンス戦略の進展
2. 主要戦略ビジネスの強化策
 - (1) 貸出ビジネス
 - ① 中小企業向け新型無担保貸出
 - ② 住宅ローン
 - ③ コンシューマーファイナンス
 - (2) 個人向けコンサルティング
 - (3) 法人向けソリューション
 - (4) 海外ビジネス
3. 今後の成長戦略の展開
4. おわりに

2005年上期の評価



ボトムライン
収益の
着実な回復

堅調なトップライン収益

SMBCにおける戦略ビジネス強化の進展

- ▶ 中小企業向け新型無担保貸出、住宅ローン、不動産ノンリコースローン
 - ▶ 法人向けソリューション
 - ▶ 個人向けコンサルティング
- ▶ **国内貸出反転**

クレジットコストの大幅改善

積極的なグループ戦略展開

- ▶ NTTドコモ提携、JR東日本提携
- ▶ プロミス提携 : コンシューマー・ファイナンス事業は順調な立ち上がり

新たな
ビジネス
ラインの創出

主要戦略ビジネスにおける成果



【SMBC単体】

✓ 中期経営計画初年度として順調な立ち上がり、顧客基盤も着実に拡大

✓ 貸出ビジネス

	<05年度計画>	<05年上期実績>
中堅・中小企業向け 新型無担保貸出 取組額	4.0兆円	約1.9兆円
うちビジネスセレクトローン	1.3兆円	約7,900億円
住宅ローン 取組額	2.1兆円	約9,200億円

05年上期の新規顧客

- SMBC-クレセルローン
約 320社
- ビジネスセレクトローン
約 8,100社
- 住宅ローン
約5万人*

✓ 個人向けコンサルティング

ロード投信 販売額	1.0兆円	約5,900億円
個人年金保険 販売額	0.7兆円	約3,200億円

* 住宅ローンの期中新規取組先数

✓ 法人向けソリューション

投資銀行業務関連収益*	1,120億円	約500億円
-------------	---------	--------

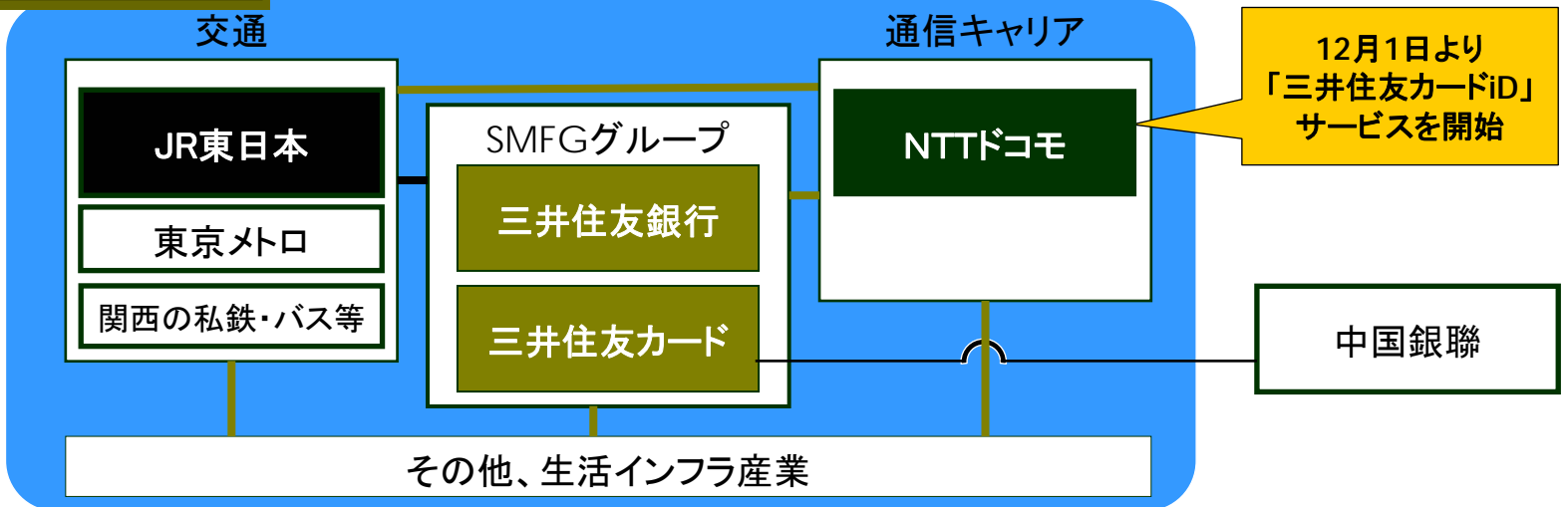
*シンジケーション+金銭債権流動化+ストラクチャードファイナンス(含む、不動産ファイナンス)

アライアンス戦略の進展 (個人ビジネス)

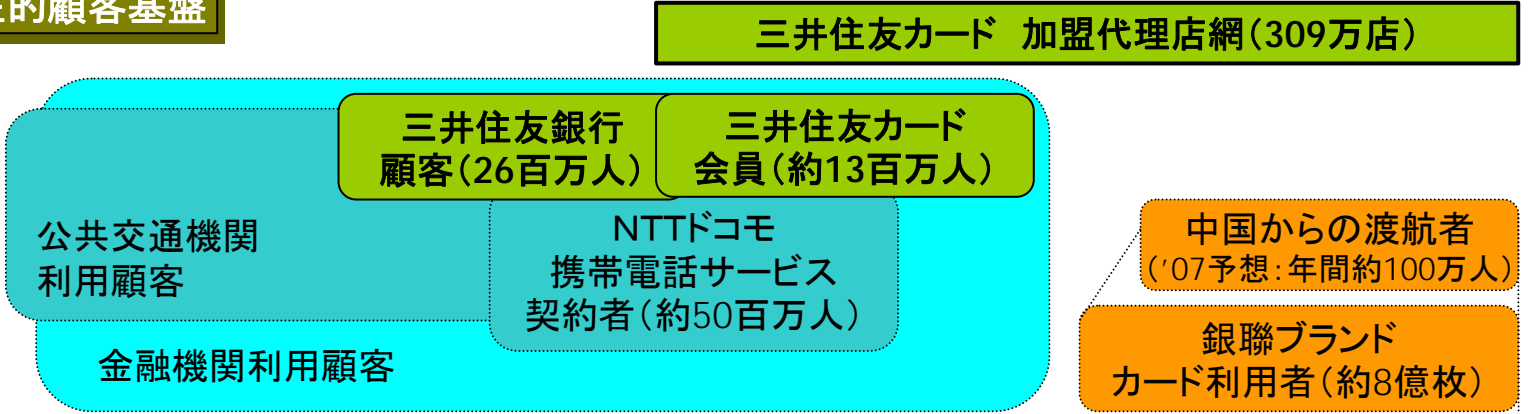


✓ 生活インフラ産業のリーディング・カンパニーとの連携 = **ドミナント戦略**
 を強化、潜在的な顧客基盤を飛躍的に拡大

ドミナント戦略の俯瞰図



拡大する潜在的顧客基盤



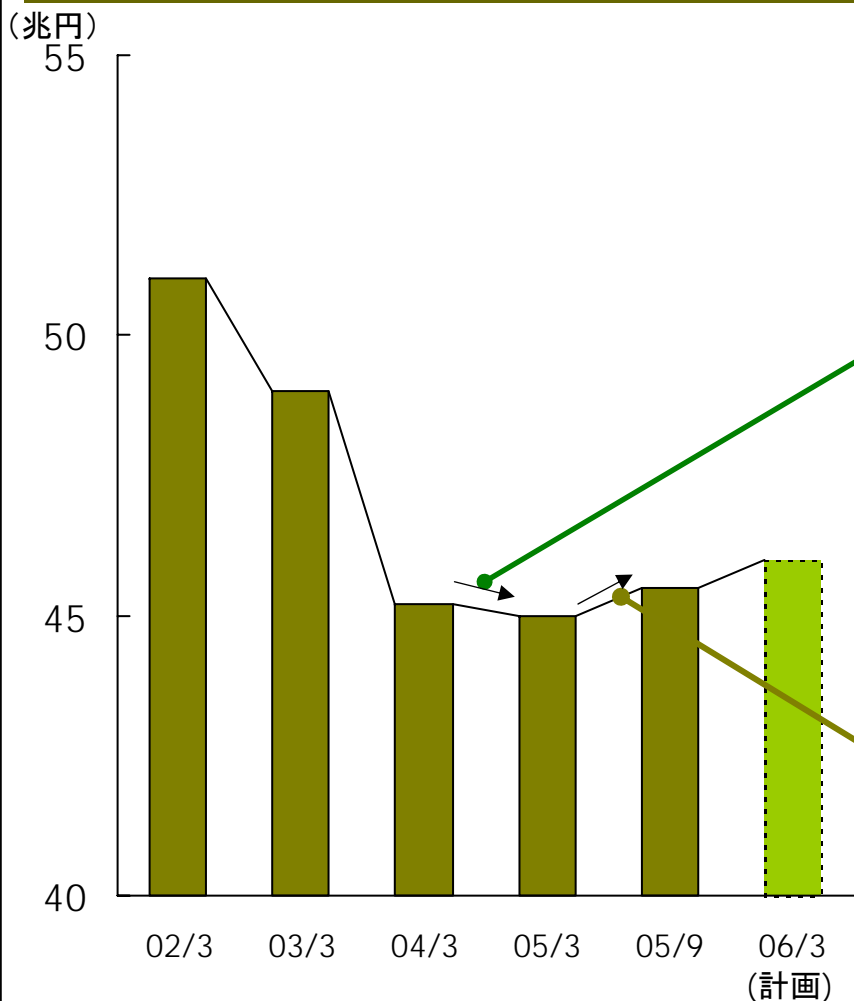
貸出ビジネス 総括



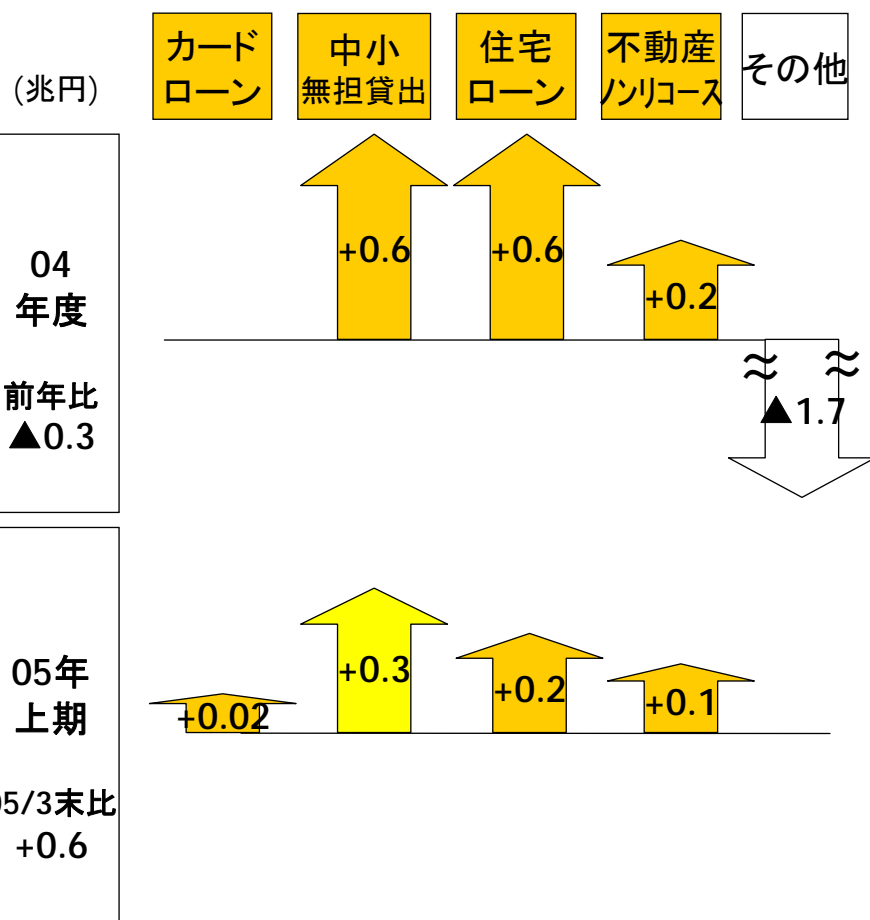
✓ 国内貸出は残高反転 ▶ 戦略ビジネスにおける貸出増強が寄与

【SMBC単体】

国内貸出金(除くリスク管理債権)残高推移



増減要因 - 国内貸出金(除くリスク管理債権)

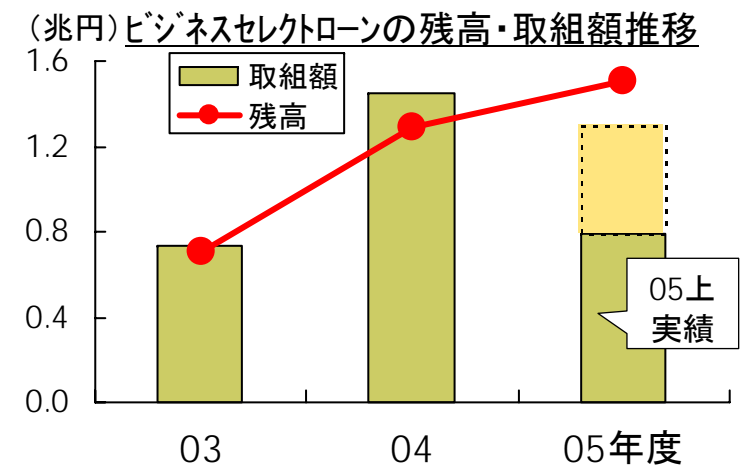


中小企業向け新型無担保貸出 ビジネスセレクトローン

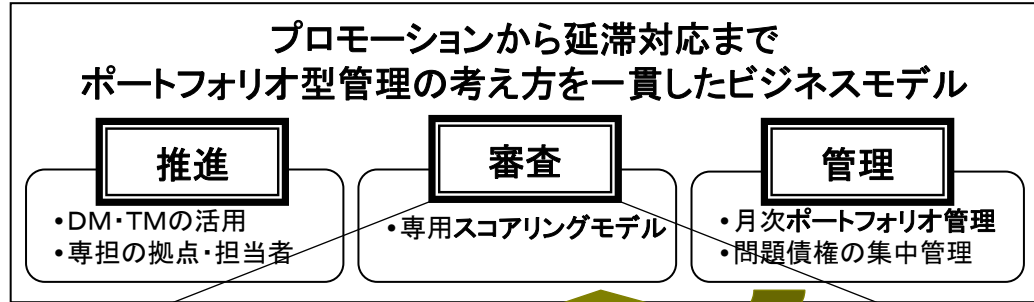
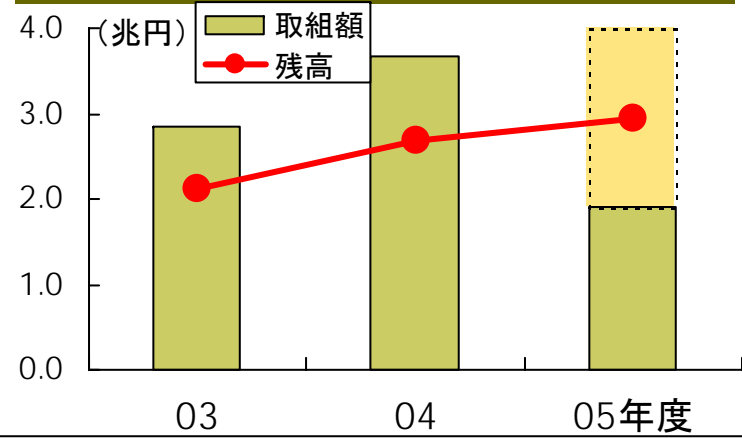


✓ **ビジネスモデルの高度化を通じ、競争優位性を更に強化** 【SMBC単体】

05上期は取組目標を大幅超過達成



(参考) 新型無担保貸出全体の残高・取組額



審査基準の高度化によるデフォルト判別力向上

スコアリングモデルの高度化

- デフォルト率推移に応じ機動的に基準金利、スコアリングモデルを見直す体制を整備

アラーム機能の強化

- 定量情報を財務諸表の不正チェックに活用
- 周辺情報もデフォルト推定に活用

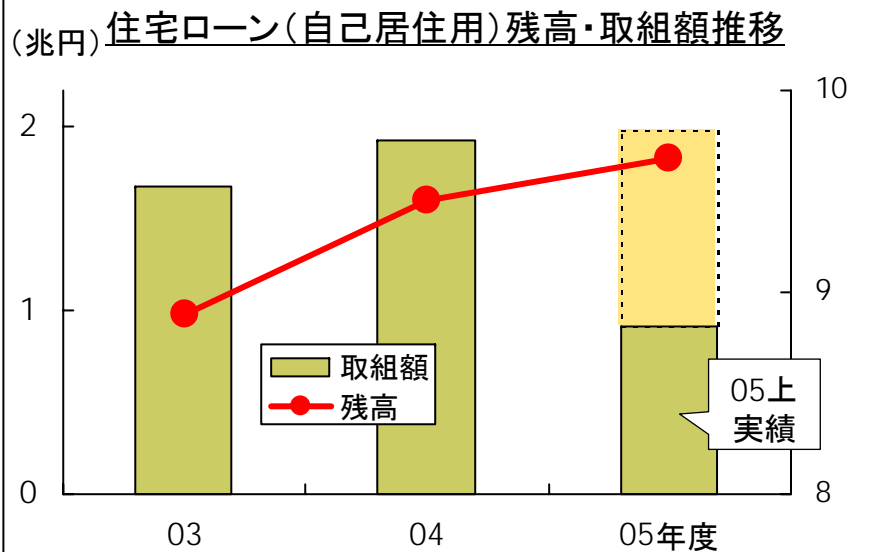
信用コスト控除後利益を引き続き想定の水準にコントロール

住宅ローン

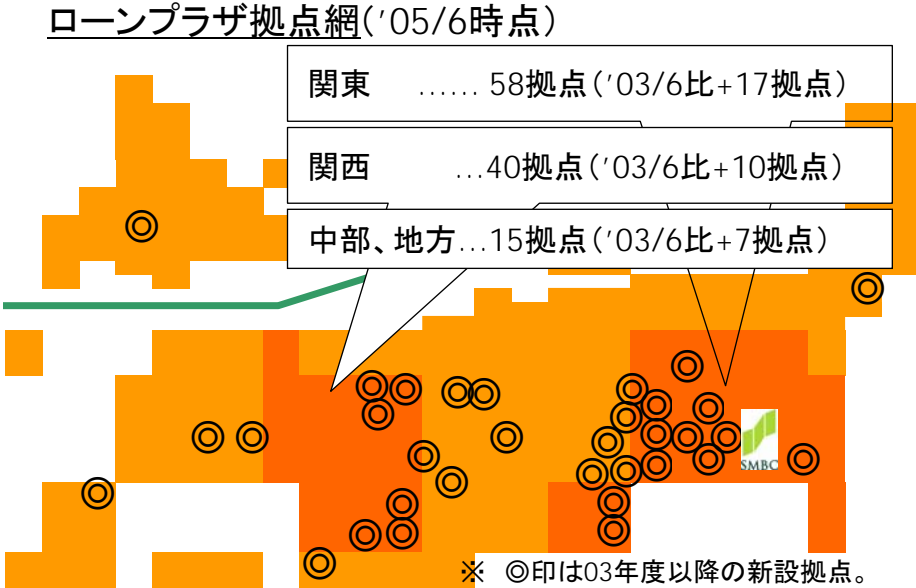


- ✓ 郊外中心に新設した拠点が取組額拡大に寄与、市場シェア10%を達成
- ✓ 商品／サービスの拡充を通じて、年間取組額2兆円を目指す 【SMBC単体】

国内市場(取組約18兆円/年)でのシェア10%を達成



郊外の人口増加地域等を軸に専用拠点を拡充

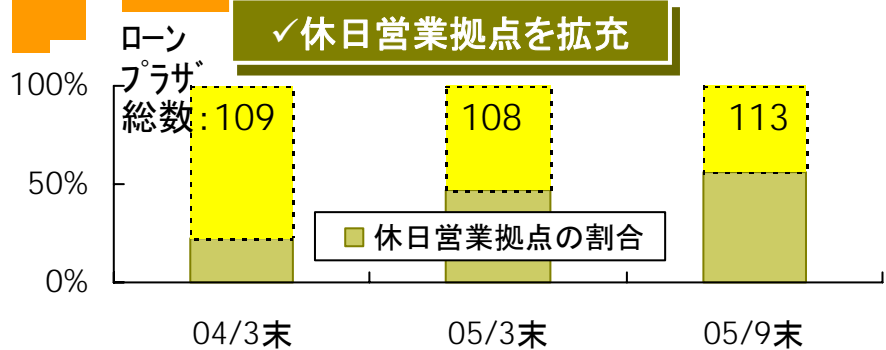


商品／サービスの拡充

- ✓ 三大疾病保障付住宅ローン投入
- ✓ マイホーム・プラス(ライフイベントサービス)投入

自動審査システム／債権管理

- ✓ 年間10万件の取組実績を反映、モデルを精緻化
- ✓ 延滞初期段階から集中管理



コンシューマーファイナンス プロミス提携



✓ **新たな市場創出に向け、提携事業は概ね順調な立ち上がり**

**提携事業全体で
残高430億円(9月末)を積上げ**

✓ **「新たな市場」の存在を確認**

- ▶ SMBC未取引顧客からの申込が全体の約4割
- ▶ 未借入顧客からの申込が全体の約2割

✓ **マスプロモーションの有効性を確認**

- ▶ SMBCで一定の集客を実現

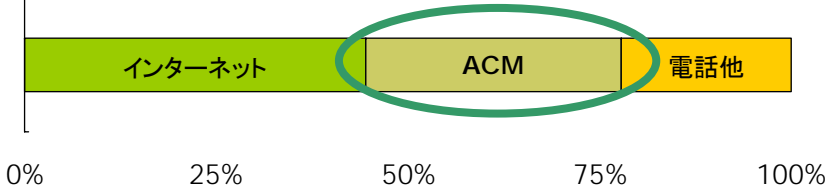
✓ **カスケードスキームの有効性を確認**

- ▶ 顧客からの同意取得率は約5割と、想定の水準

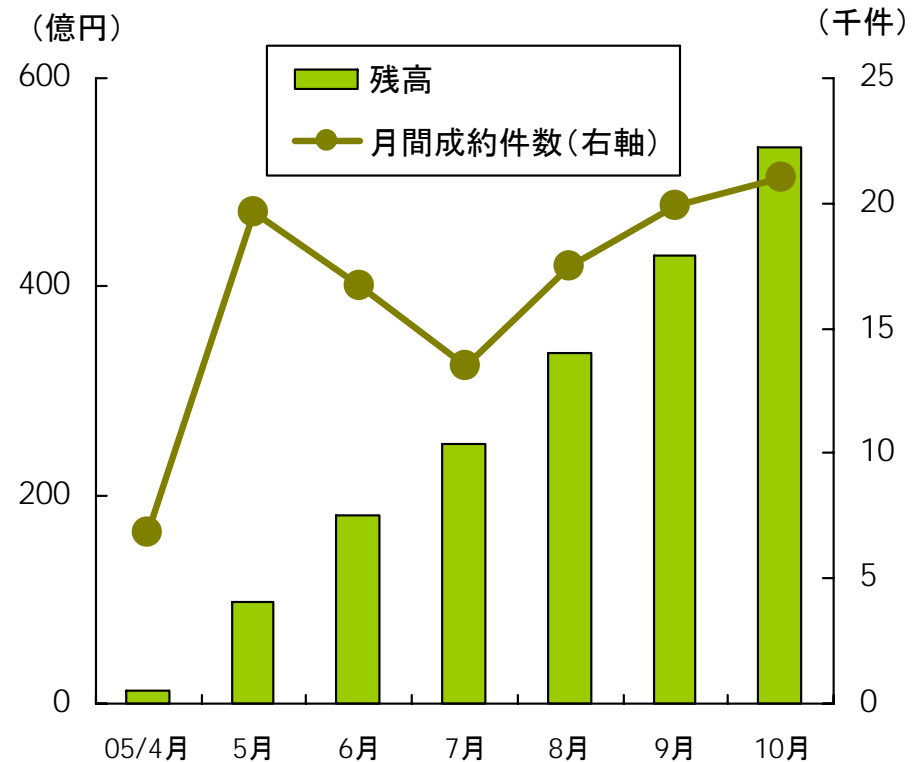
✓ **リアルチャネルでの有効性を実証**

- ▶ ATMコーナーのACMでの申込が全体の約3割

申込実績のチャネル別分布



提携ローン残高・月間成約件数実績



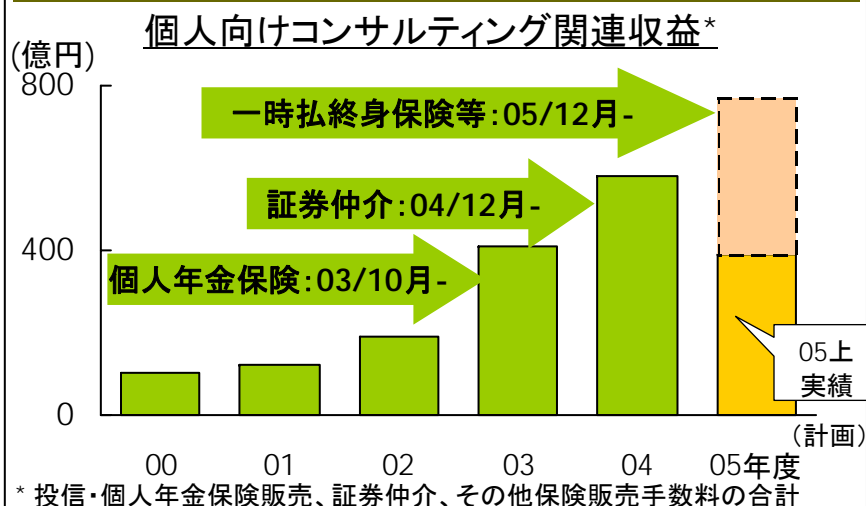
**更なる施策を通じて
3年間で残高5,000億円実現へ**

個人向けコンサルティング

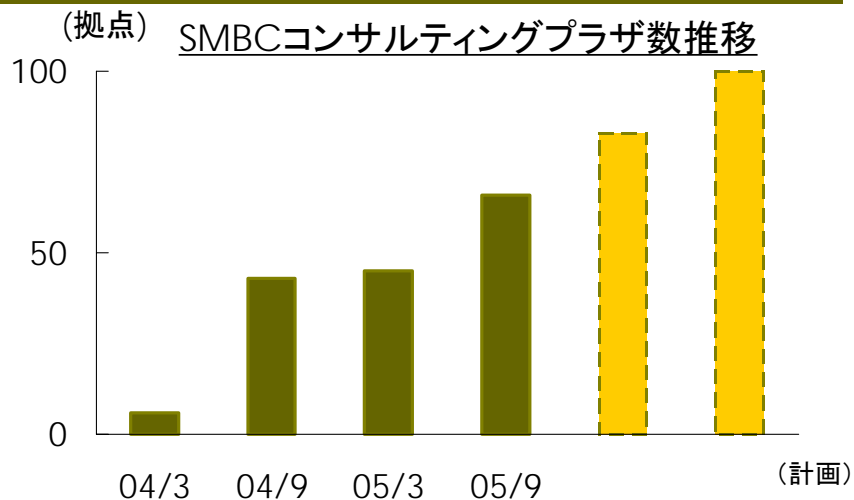


✓ 生産性向上とコンサルタント増強を通じて、更なる成長を目指す

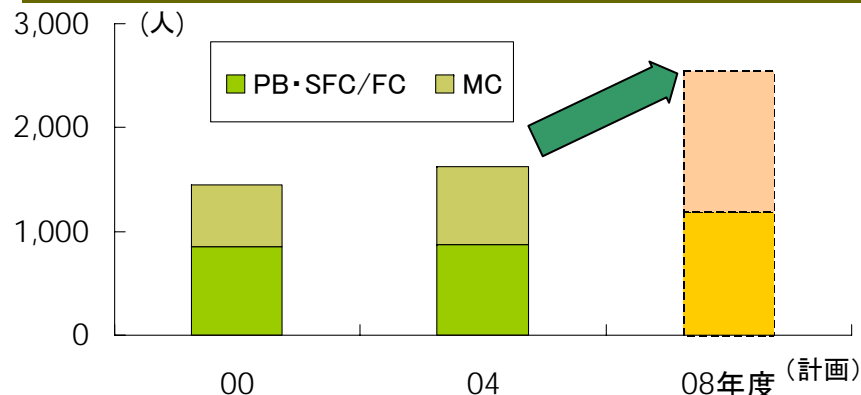
関連収益：商品ラインアップ拡充とともに急成長



コンサルティングプラザを拡大展開



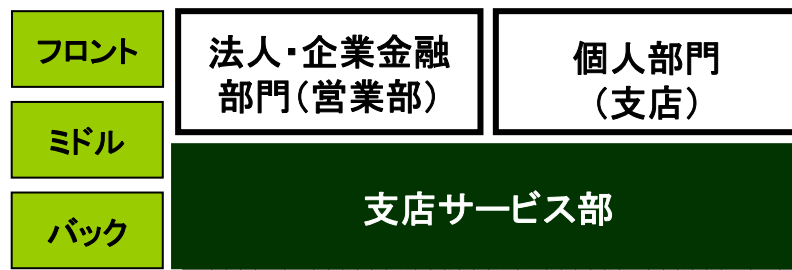
コンサルタント増強(+1,000人)



※ PB・SFC/FC：顧客への往訪を行うコンサルタント。プライベートバンカー、シニアファイナンシャルコンサルタント、ファイナンシャルコンサルタントの略。
MC：支店、SMBCコンサルティングプラザ等の店頭でサービスを提供するコンサルタント。マネーライフコンサルタントの略。

新支店運営体制 … 支店サービス部導入

✓ 支店長はフロント業務に特化し、生産性を向上すると共に、顧客対応力を強化



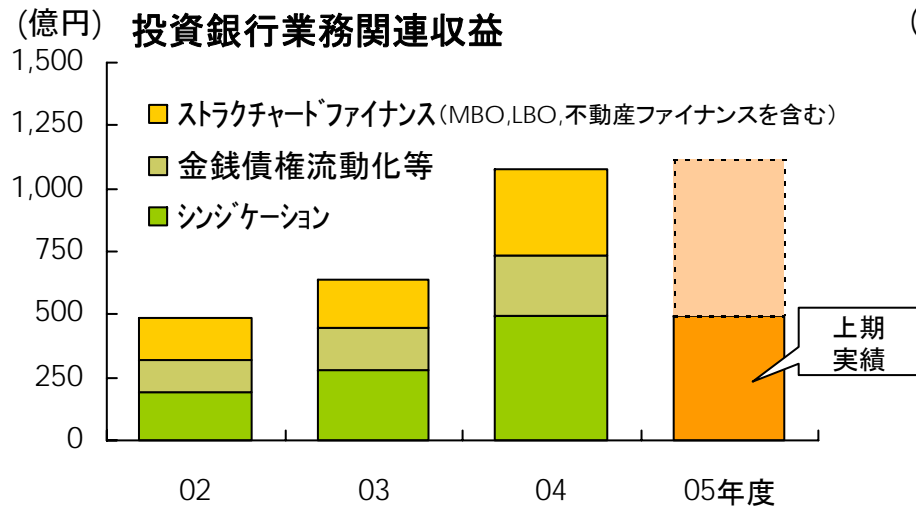
* 05年10月末現在180拠点が移行済。

法人向けソリューション 上期実績

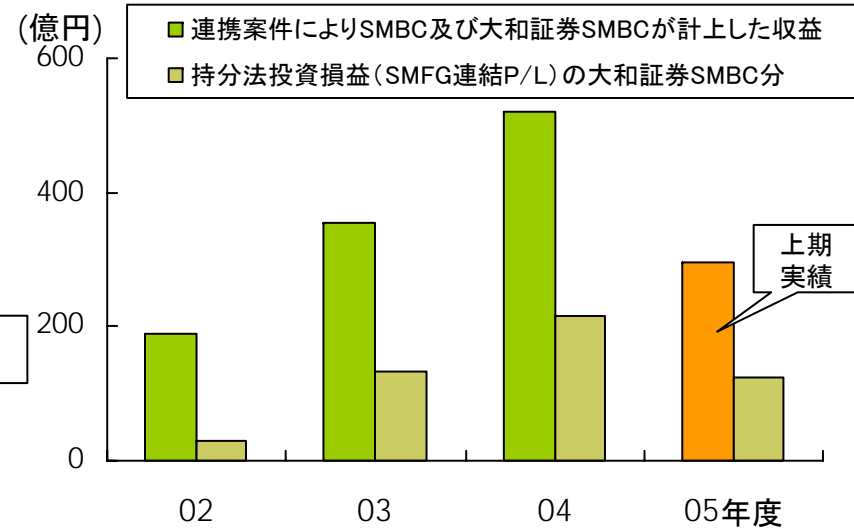


✓ ファンド(バイアウト、不動産)と連携したソリューション提供、証券仲介業務が順調に立ち上がり

三井住友銀行の投資銀行部門



大和証券SMBCとの連携



MBO/LBOファイナンス
 01年10月
 国内に担当部署設置
 ↓
 05年上期
 約3,000億円の
 MBO/LBOファイナンス
 をアレンジ

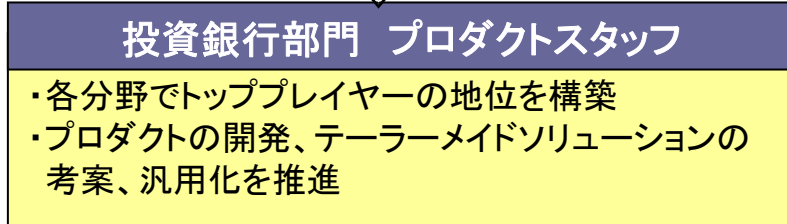
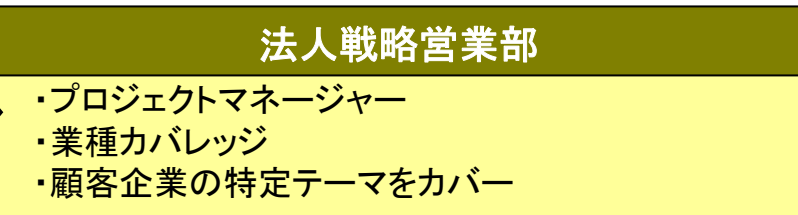
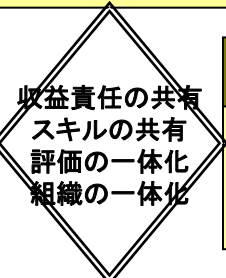
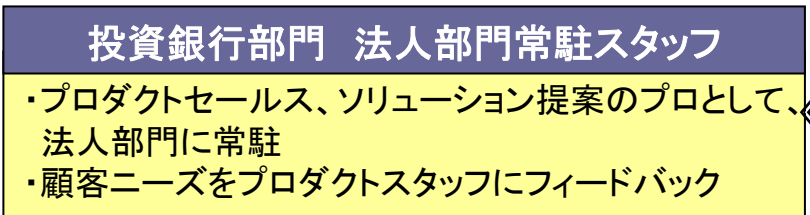
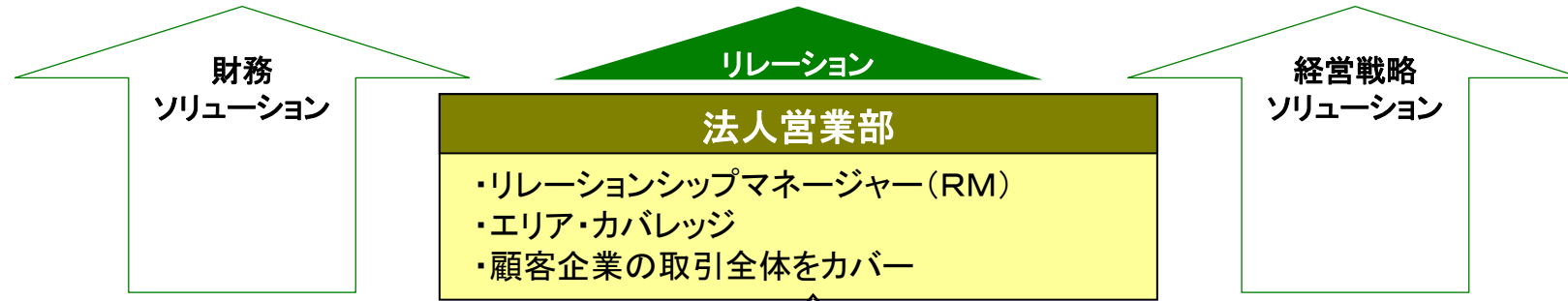
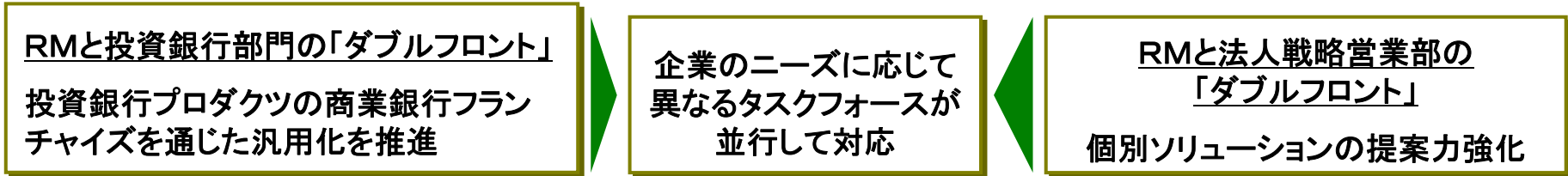
不動産ファイナンス
 05年4月
 不動産ファイナンス
 営業部を設置
 ↓
 05年上期
 不動産ノンリコースローン*
 1,500億円弱増加

法人向け証券仲介
 04年12月
 三井住友銀行に証券
 営業部を設置し、参入
 ↓
 05年上期
 粗利益約40億円の
 事業へと成長

連携事例
 04年6月
 大和証券SMBCが
 MSCBの取扱い開始
 ↓
 04年6月より、通算12件
 の三井住友銀行紹介
 案件が成約

* 不動産ファイナンス営業部 所管分

法人向けソリューション 法人部門ダブルフロント体制



海外ビジネス

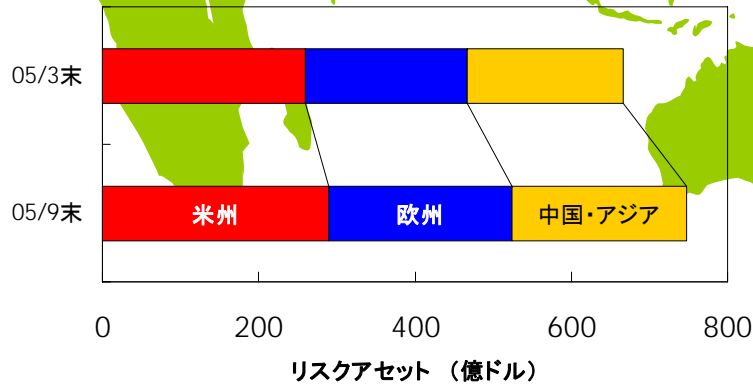


✓「日本・アジアをマザーマーケットとするグローバルな商業銀行」としてカバレッジを強化

機動的なアセット運営

- ✓ 企業活動のグローバル化への対応
 - 本邦、アジア企業のグローバル展開
 - 欧米企業の本邦、アジアへの進出

本社、進出先の両サイドで
グローバルにカバー



(注) SMBC連結ベース

競争力のあるソリューションビジネスの展開

- ✓ 競争優位性のあるソリューションビジネスを通じて、成長エリアでの収益機会獲得

グローバルプロジェクトファイナンス組成実績	グローバル船舶ファイナンス組成実績	欧州PFI組成実績	アジア(除く日本)シンジケートローン組成実績
第1位 Citigroup \$6,413 m	第1位 Citigroup \$5,108 m	第1位 HBOS E1,144 m	第1位 Standard Chartered \$4,827 m
第6位 SMBC \$3,475 m	第8位 SMBC \$893 m	第5位 SMBC E417 m	第5位 SMBC \$3,053 m

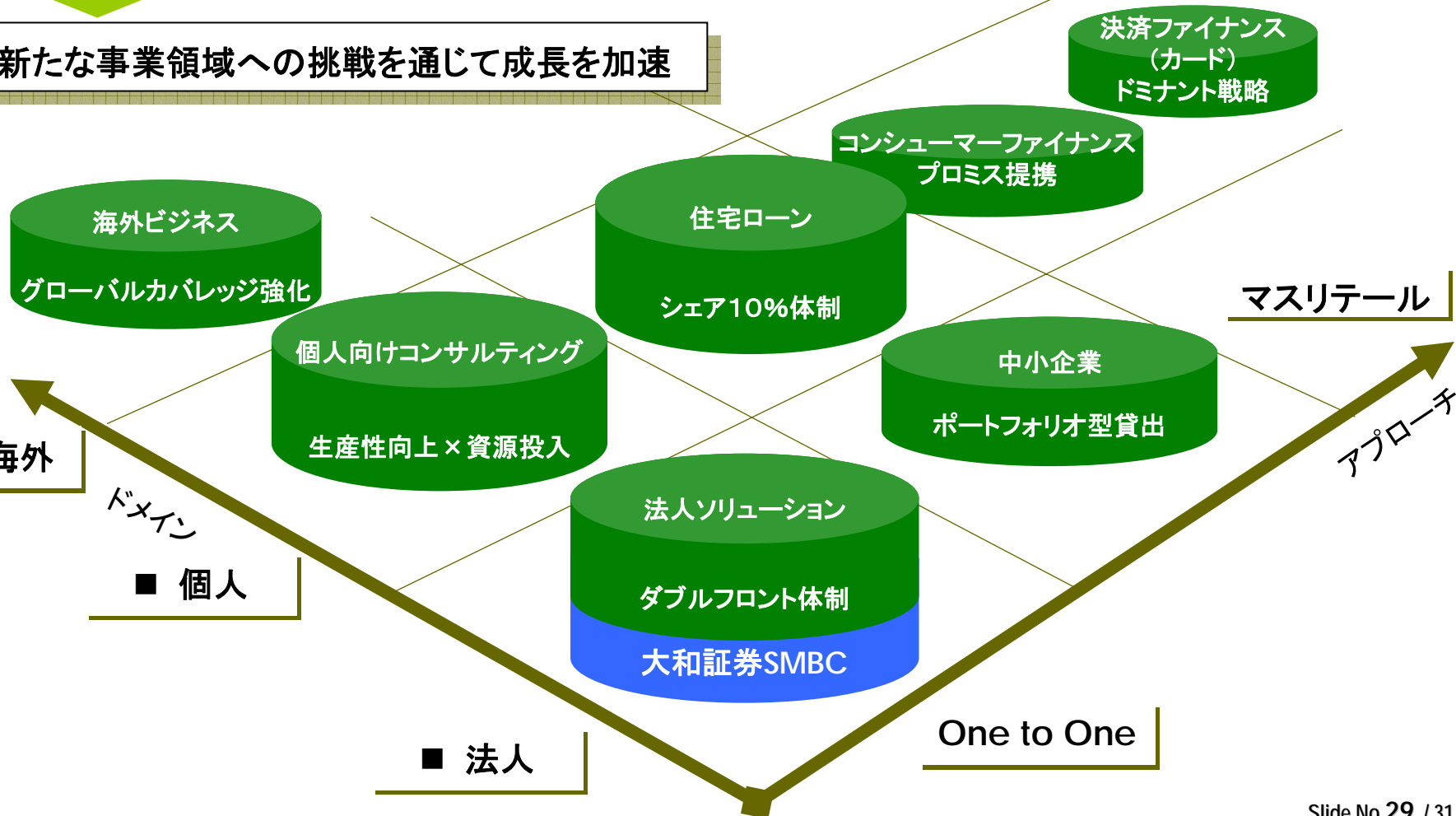
※上記リーゲテーブルではいずれも邦銀No.1
(資料) Project Finance International, Dealogic, Basis Point。何れも2004年実績。

今後の成長戦略の展開

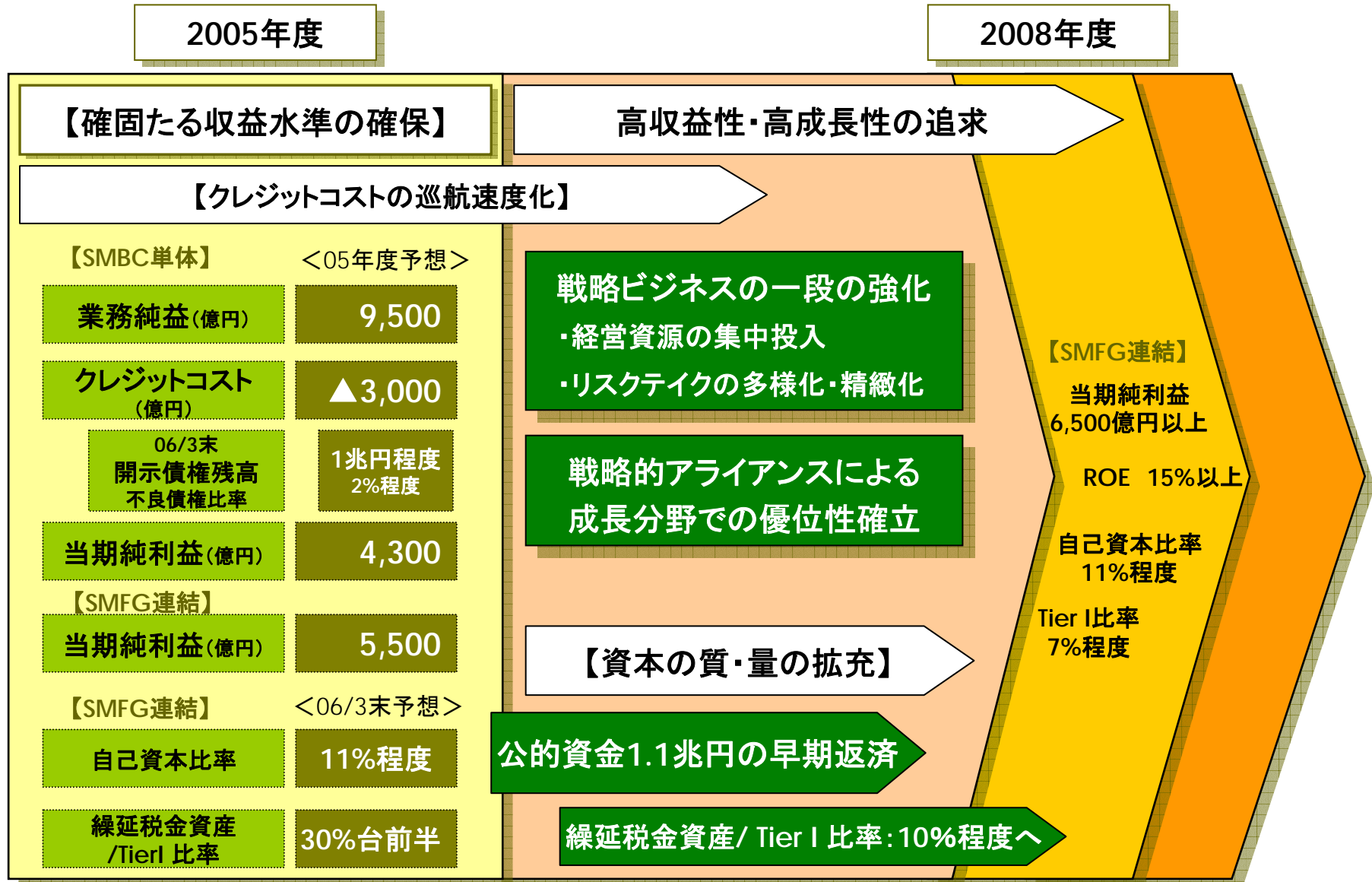


- ✓ 競争優位性に裏付けられた強固な既存ビジネスポートフォリオ
- ✓ アライアンスを通じて創出した新たなビジネスライン

新たな事業領域への挑戦を通じて成長を加速



おわりに: SMFGのロードマップ





本資料には、将来の業績に関する記述が含まれています。こうした記述は将来の業績を保証するものではなく、リスクと不確実性を内包するものです。将来の業績は、経営環境に関する前提条件の変化等に伴い、予想対比変化する可能性があることにご留意ください。